

今後について 考えよう！

今後も奈川ぐるぐるカフェを定期的で開催して集まり、話し合ったりアイデアを実行する準備を進めていきたいと思えます。これまでの活動だけでなく、新しい参加者や新しいテーマを募って話し、参加と活動の輪を広げていきたいと思っています。

今回は4テーブルに分かれて、今年度やってみたい活動や、今後のぐるぐるカフェの進め方について各々の思いを語りました。

みんなで話したいこと、困りごとや、やってみたいこと

- ・子どもたちの学びの場や、子育てについて
- ・大学生の関わり方（地域の方の意見もきいてみたい！）
- ・移住者のかたの考えを聞く会（どうして奈川にきたのか、気になることなど）
- ・他地区の取り組み事例
- ・農業／観光／情報発信

ぐるぐるカフェの進め方について

- ・子育て世代も参加しやすい時期（平日昼間や土日など）もたまにあっても良い
- ・緊張せずに話せる工夫（BBQ、飲み会、ごはん会）
- ・かたくないテーマ
- ・住民同士の交流につながるようなもの



新しく提案があった企画も
早速動き出しそうです。

大原クラインガルテンで育てているコキアを使って
ほうきづくりのイベントをやりたい！
奈川小中学校の学生に参加してほしい！



有料でやったほうが
いいと思う！

大人も
参加したい！

次回について

次回の奈川ぐるぐるカフェは10月31日（火）18:30～20:30に、夢の森2階福祉ひろばで開催します。奈川に住んでいるみなさま、奈川に関わっていらっしゃるみなさまなど奈川の地域や活動にご興味がある方はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。詳しくは、奈川地区地域づくりセンター（0263-79-2121）まで。

主催・発行：持続可能な奈川地区推進協議会 協力：studio-L

奈川

ぐるぐるカフェ報告会



2023.09.26(火)18:30-20:30
奈川文化センター夢の森 福祉ひろば

趣旨

8月に策定された「奈川のみかたをふやす道標 持続可能な奈川地区推進計画2023」のご報告と、5月27日に開催された「ながわ種まき交流会」で発表された活動のその後について共有する「ぐるぐるカフェ報告会」が開催されました。

今年度のぐるぐるカフェのスタートということで新たなメンバーも迎え、今後の展開を考えたり、新しいメンバーの新たな活動の提案があったりし、とても活気のある回になりました。

参加者

奈川地区にお住まいのみなさん
奈川地区にお勤めのみなさん
松本市役所職員
信州大学生 など 合計24名

勝山会長のあいさつ

みなさんのお手元にある「奈川のみかたをふやす道標」という冊子は、持続可能な奈川地区推進協議会だけでなく、地域の方にもご協力いただいて完成しました。本日は2023年度の第一回目のぐるぐるカフェになりますが、昨年生まれた活動をもう一步進めることや、新たなテーマが生まれてくることにも期待しています。今日もみなさんと一緒に、さまざまな観点で検討していきたいと思っています。



これまでの流れ

昨年度からこれまでの一連の流れについて、studio-Lの醍醐さんから改めてご説明いただきました。

昨年は、奈川ぐるぐるカフェを11月から開催し、大原クラインガルテンの管理棟でも交流会を開催しました。それまでのぐるぐるカフェで出されたアイデアを元に作戦会議を重ね、最終的に6つの活動が生まれました。それらの活動の中間報告として5月にウッディ・もっくで「ながわ種まき交流会」を開催しました。

各チームの活動報告

「ながわ種まき交流会」以降の具体的な各チームの活動の状況と、実際に活動をしてみてどう感じたかについて、チームごとにご報告いただきました。

軒下ベンチプロジェクト

ベンチがあればみんなで話せるのではないかという発想から活動を始め、今では少しずつ奈川にベンチが増えてきています。林照寺にも、濡れ縁をつくったので、自由に座って休んでいただけたらいいなと思っています。今はそれらのベンチが仲間だという印をつけるため、ロゴを検討しています。



情報発信

奈川のさまざまな遊びや歴史をアーカイブとして残していこうと、活動を動画にまとめて編集し、発信しています。一方で、地域の活動を発信するためのマンパワー不足も感じています。写真や文字情報をみなさんから集め、それを発信するような仕組みをつくっていききたいと思います。



奈川えんがわプロジェクト

子ども向けの公民館行事に参加したり、寄合渡の体育館で野球教室をしたり、借りている拠点を開放して一緒にごはんを食べたりしました。これまで自分の使命はいろんな大学生を奈川に連れてくることだと思っていたのですが、今は地域に関わる大学生のモデルに自分がなれたらいいなと思っています。



8月20日に、野麦峠スキー場でながわ青空マルシェ&マーケットを開催しました。蟻ヶ崎高校書道部のパフォーマンスや、奈川小中学校のチュロスがNHKで取り上げられた効果などもあり、300名ほどの方が足を運んでくださいました。休む場所の確保や駐車場からの案内表示など改善点も見られましたが、概ね大盛況で終わることができました。

青空マルシェ



おためし奈川 奈川インターン

仕事や活動を通して奈川に関わってもらう人が増えるように、インターンシップを始めようと、信大のみなさんと検討してきました。来てもらうタイミングと農作業の繁忙期が合わなかったり、事業としてどう継続していくのかなどの課題はありますが、まずはできることからやっていきたいと思っています。



奈川リバーアドベンチャーツアー

「だいじ屋」と㈱ふるさと奈川観光交流部がコラボレーションして、奈川リバーアドベンチャーツアーを開催しました。当日の様子を動画に収め、編集したものをyoutubeで発信しています。この日は、関谷さんの到着が遅れたため、動画の一部をみなさんで拝見してイベントの様子を共有しました。



策定された推進計画について

今回策定された計画には、奈川の魅力や課題についてデータに基づいた情報が記載されています。

その中で、今後の奈川の地域づくりの方向として「みかたがふえる奈川に」というキャッチコピーをつけました。この言葉には2つの意味があります。

1つはどのように地域を捉えていくのかという視点を改めて考えていくという「見方」です。日本全体が人口減少の時代において、奈川は実は先進地域という見方ができ、奈川から新しいことを生み出していけば、他の地域から注目されるということもあるのではないかと思います。そういった視点で、みなさんと奈川を改めて捉え直していきたいと考えています。

2つ目は、仲間という意味の「味方」です。奈川在住のみなさんはもちろん、奈川には住んでいないけれど、積極的に関わろうと思ってくくださる方たちも奈川の「味方」として地域活動に関わっていただき、仲間をどんどんつくっていくことが必要だと思いますし、奈川にはそういう素地があると考えています。

これら2つの「みかた」を広め、取組んでいくことで、今後の奈川を明るく楽しい場所にしていけるように、キャッチコピーを設定しました。

その後のページでは、具体的な取り組みについて4つの柱ごとに整理し、概ね5年後までに実施していくスケジュールも提示しています。

今後、奈川ぐるぐるカフェなどでにおいてさまざまな活動が生まれてくると思います。そのときに、その取組みが計画のどこに位置づけられるのかを確認しながら進めていくことが大切です。みなさんには楽しいと思うこと、やりたいと思うことを大事にしながら、実はそれが計画に沿っている活動なのだという事も認識していただけると、活動の「みかた(見方・味方)」を増やすことにつながるのではないかと思います。



地域づくりの方向性

みかたがふえる奈川に

① 奈川の「見方」を増やす



② 奈川の「味方」を増やす



取組みの4つの柱

1. 地域の暮らしをささえる
奈川地区全体や各集落における生活を支える機能の維持、医療や高齢者介護などの地域福祉、買い物や交通環境、住まいに関する事など、地域の暮らし全般に関する視点
2. 子どもたちを育む場をつなげる
子育ての環境・仕組みづくりや、保育園の今後の検討、奈川小中学校の新たな展開や教育プログラムの可能性等、地域の次世代を育むことや、多世代の学びに関する視点
3. 奈川ならではのなりわいをつくる
地域での働く環境の整備や農林業など既存産業の新たな展開、さらには奈川の特性を生かした新たな生業(なりわい)づくりやワークスタイルの実践などに関する視点
4. 来訪者との新たな関係をつくる
観光に関わるハード・ソフト両面に対する新たな展開、奈川の生活体験などを通じた来訪者との新たな関係づくり、取組みにおける協力体制の構築などに関する視点